

3月24日 修了式

今日は修了式です。一年間の勉強がすべて終わりました、ということで、その証としての修了証を渡すための式です。そして、一年間の振り返りと新たな学年への希望をもつための式です。本当ならば、全員が集まって行うのですが、今日は各クラスの代表の人に集まっていただき、皆さんとはタブレットを使っての修了式となります。

さて、この一年間を振り返ってみますと、始業式や入学式はできたものの、その後の4月、5月と新型コロナウイルスの影響で学校がお休みになってしまうというスタートでした。6月に学校は始まりましたが、マスクをつけての生活や前を向いたまま黙って食べる給食など、今までとは違うことが多かった一年でした。また、2か月間お休みだった分、代わりに夏休みが短くなったり、なんだか土曜日もたくさん学校に来たりしました。そのような中で、皆さんとても良く頑張りましたね。皆さんが頑張ったおかげで、今年一年間の勉強が無事に終わりました。皆さんの修了証には、その証として皆さんの名前と北ノ台小学校の四角いはんこが押してあるはずです。後で担任の先生から受け取ったら確認してくださいね。

ところで、六年生を送る会で校長先生が出したなぞな「人にあげればあげるほど、増えるものは何でしょう？」の答えは分かりましたか。何人かのお友達が答えを伝えに来てくれました。その中には見事に正解した人もいました。

答えは、「思いやりのやさしい心」でした。今、縦割り班のメンバーに向けた6年生のメッセージが保健室前の掲示板に貼ってありますよね。そのメッセージを読みますと、6年生の、思いやりにあふれた優しい心をたくさん感じることがができます。このメッセージを読んだ縦割り班のメンバーの心にも、思いやりの優しい心がきっと芽生えることでしょう。そうして、人にあげた思いやりの心を受け取った人が、また他の人にあげていく、こんな風にどんどんどんどん思いやりの優しい心が増えていくと、北ノ台小学校はもっともっと素敵な学校になっていくことでしょう。

新学期、新しい学年でも、思いやりの優しい心を大切に、楽しく元気に過ごしてほしいと思います。

今日は修了式ですので、一年間の振り返りと「思いやりの優しい心」についてのお話をしました。春休みは少し短いですが、しっかり休んで新学期、元気に登校してきてください。そして6年生は元気に中学校へ行ってください。これで、校長先生の話が終わります。